

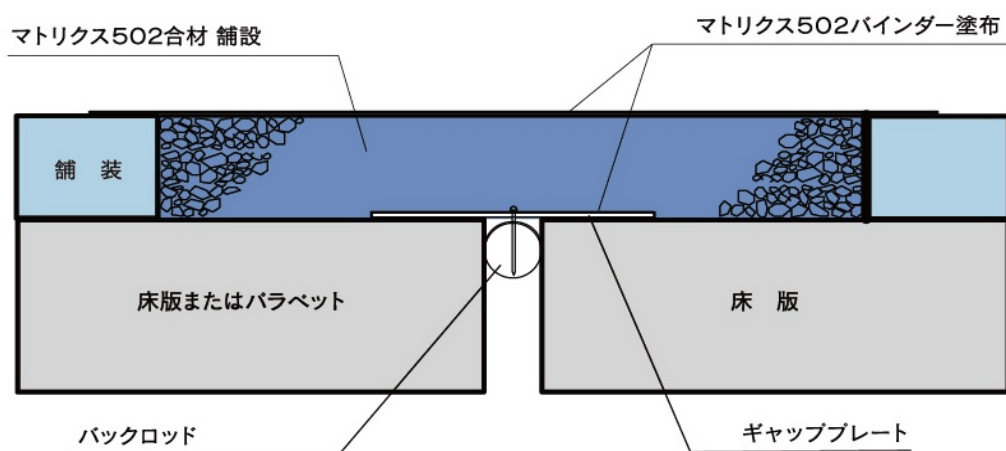
技術概要書（様式）

別紙2

技術分類	安全・防災 ☒ 維持管理 環境 コスト ICT 品質 (該当する分類に○を付けてください)																	
技術名称	MMジョイント	担当部署	技術開発部															
NETIS登録番号	QS - 090019 - A	担当者	牟田 良															
社名等	西日本高速道路メンテナンス九州㈱	電話番号	092-716-3984															
技術の概要	1．技術開発の背景及び契機 橋梁の床版や橋台などのジョイント部に生じる段差は、走行車両の乗り心地に影響するだけでなく、振動や騒音の発生原因になります。埋設ジョイントを使用する事でそうした問題は解消できるが、従来の埋設ジョイントでは耐久性に課題があり、これまで多くの取組みがなされてきました。しかし、夏季における流動わだちあるいは冬季におけるリフレクションクラックなどに対応できる材料がなかったことから、本格的な普及には至っていませんでした。 2．技術の内容 マトリクス502バインダー（米国・クラフコ社製）と、骨材（国産）を加熱攪拌したマトリクス502合材および、ギャッププレート（支持鋼板）などから構成されている舗装厚内型の埋設ジョイントです。 3．技術の効果 MMジョイントの特長 マトリクス502バインダーは、付着性伸縮性が非常に優れており、ジョイント部の止水性能が高まります。 構造が単純で施工時間の短縮が図れます。 高温から低温まで幅広い温度帯で良好な伸縮性能を発揮し、耐久性に優れています。 橋梁全体の耐久性の向上につながり、LCCの低減が図れます。 4．技術の適用範囲 ・許容伸縮量：40mm以下 ・遊間量：75mm以下 ・施工幅：標準値500mm（400～600mm） ・施工厚さ：50～150mm ・対象工事：伸縮装置の新設工事、取替工事 5．活用実績 <table border="0"> <tr> <td>国の機関</td> <td>823.4m（九州</td> <td>49.0m</td> <td>、九州以外</td> <td>774.3m）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>4003.8m（九州</td> <td>768.1m</td> <td>、九州以外</td> <td>3235.7m）</td> </tr> <tr> <td>民間(高速道路会社)</td> <td>7118.5m（九州</td> <td>2081.8m</td> <td>、九州以外</td> <td>5036.7m）</td> </tr> </table>			国の機関	823.4m（九州	49.0m	、九州以外	774.3m）	自治体	4003.8m（九州	768.1m	、九州以外	3235.7m）	民間(高速道路会社)	7118.5m（九州	2081.8m	、九州以外	5036.7m）
国の機関	823.4m（九州	49.0m	、九州以外	774.3m）														
自治体	4003.8m（九州	768.1m	、九州以外	3235.7m）														
民間(高速道路会社)	7118.5m（九州	2081.8m	、九州以外	5036.7m）														

6. 写真・図・表

断面図



施工例

一般道



高速自動車道



浦久保橋

長崎自動車道 撰分高架橋

施工手順

・既設ジョイント撤去
・バックアップ材設置

・バインダー塗布
・ギャッププレート設置

・合材舗設・転圧・整形
(3層仕上げ)

・養生
・交通開放

